

「信州・学び創造ラボ」 県立長野図書館3階フロアプラン (イメージ)

◎ Co-Learning ゾーン

学び合いから新しい価値を創造し、
アイデアを形にする “共知・共創” 学びの場

共に知り、共に新しい社会的価値を創造する
「みんなの学び」が集うモデル空間

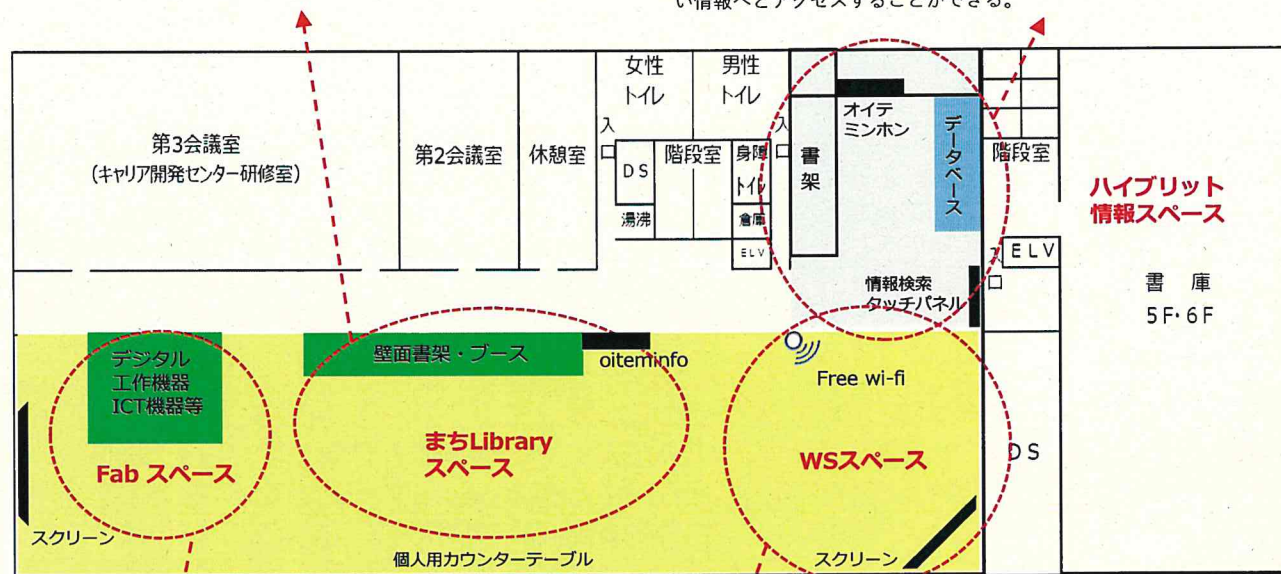
地域課題の解決に資する学びの活動を行うコミュニティ（市民・企業・教育機関などが構成員となる協働体）が、その地域に向けて、本・ヒト・モノ・コトに関する様々な“情報”を主体的に展示・発信し、新しくコトをおこしていくモデルとなる場。

◎ 信州情報探索ゾーン

信州に関する情報を、自らの手で
広く深く知ることを楽しむ学びの場

利用者の「もっと知りたい！」を引き出す
アナログ × デジタルのハイブリットな情報空間

アナログとデジタルをミックスし、多様な情報へのフリーアクセスを体感できる場。本のバーコードをリーダーにかざすと次々と関連情報が表示される機器や、インターネット上の情報ポータルサイトと連動して、地域情報データベースを横断検索できるタッチパネル等、来るたび・触れるたびに新しい情報へとアクセスすることができる。



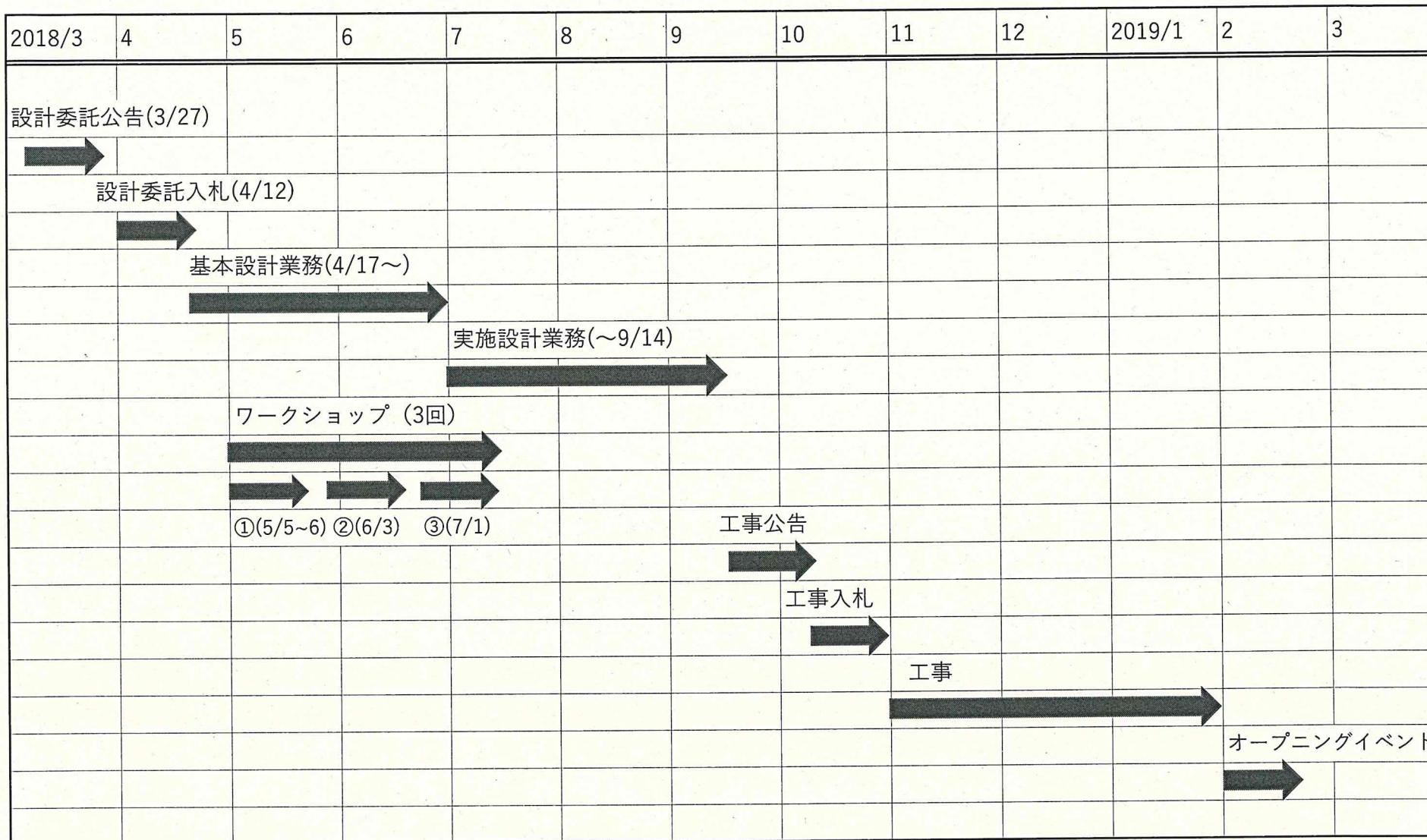
アイデアを形にする機器類を備えた、
学びの成果のアウトプットスペース

情報を編集し発信することができるスキルを、利用者間の協働プロセスで獲得していく場。ソフトウェアや3Dプリンタなどのデジタル工作機器等を使って試行錯誤を繰り返し、自らのアイデアを出力・表現・発信する。

場所や地域に縛られることなく、
県全域での“知の創発”を促す機能を担うスペース

学びのコミュニティ同士のネットワークを拡げ、Co-Learningを県内各地へ展開していく核となる場。地域の図書館・公民館・大学などをオンラインでつなぎ、ワークショップを共同開催したり、他館で行われているイベントや講座等を同時配信したりするなど、様々な場所で行われている学びを共有する。

県立長野図書館 3階フロア改修工事スケジュール



■設計業務

- ・委託先 (株)宮本忠長建築設計事務所
- ・委託料 1,944千円
- ・委託期間 4月17日から9月14日まで



— とびきり心地よく、刺激的なサードプレイスを創ろう —

県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」 空間デザインコンセプト検討ワークショップ

を 5 月 5 日・6 日に開催します

県立長野図書館では、今秋 3 階フロアのリノベーションを行い、「共知・共創（共に知り共に創る）」の場として「信州・学び創造ラボ」を整備します。それに伴い、公共空間のあり方に関心のある皆さんにお集まりいただき、設計前に空間デザインを考えるワークショップを開催します。

これからの社会を創造する起点となるような公共図書館や公共空間のあり方を、空間デザインコンセプトの面から一緒に考えてみませんか？（3 回程度を予定 / 2 回目は 6 月、3 回目は 7 月頃に開催予定）

日時

1 日目

平成 30 年 5 月 5 日（土・こどもの日）
13:00 - 16:00

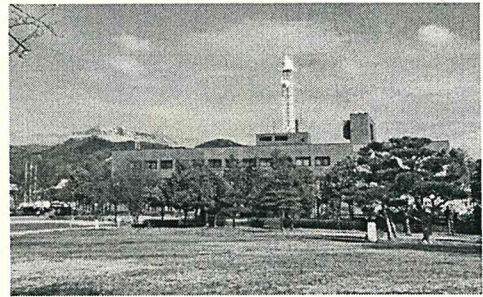
場所

県立長野図書館 2 階
ナレッジラボ・UCDL（ウチデル）
※リノベーションする予定の 3 階フロアの見学も
行います。

2 日目

平成 30 年 5 月 6 日（日）
10:00 - 15:00

※各日だけの参加も可能ですが、2 日間通しての内容となるため、
できるだけ両日ご参加ください。



ファシリテーター

李明喜氏

（アカデミック・リソース・ガイド株式会社 デザイナー・ディレクター）

瀧内 貫氏

（株式会社コト社 代表・まちの教室 ディレクター）

進行：平賀 研也（県立長野図書館長）

申込等

- 参加費 無料
- 対象 これからの公共空間のあり方について関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。
〔建築、設計、行政、図書館、教育、まちづくり、コワーキング関係者等〕
- お申込 ①お名前 ②連絡先 を記載し、
ken-tosho@library.pref.nagano.jp
あてにメールでお申し込みください。

「信州・学び創造ラボ」とは？

県民ひとりひとりが主体的、創造的に取り組んだ学びの成果をアウトプットできるようパソコンや 3D プリンタなどのツールを備えたり、多様な情報や人がつながり、アイデアを形にしていけるようグループワークのスペースを整備するなど、開かれた学びの場である図書館における「新しい社会的価値を創造する学びが集うモデル空間」を目指しています。

本ワークショップの成果も反映させつつ、宮本忠長建築設計事務所が 9 月末頃までに設計を行い、2019 年 2 月のオープンを予定しています。

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン 2.0
（長野県総合 5 か年計画）推進中

教育委員会事務局 文化財・生涯学習課
（課長）井上 雅彦（担当）降旗 萌
電話 026-235-7439（直通）
026-232-0111（代表）内線 4424
F A X 026-235-7493
E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

問合せ先

県立長野図書館 企画協力課
（館長）平賀 研也（担当）小澤 多美子
電話 026-228-4939（企画協力課直通）
026-228-4500（代表）
F A X 026-291-6252
E-mail ken-tosho@library.pref.nagano.jp

(例) ワークショップ 意見等

① 良かったこと・できなかったこと
 ・デジタルのサービスについての議論をもっと深める
 ・デジタルと体験を結び仕組みづくり

② 自分たちに何ができるか
 ・運営との関わり

同じゾーンの中でも
個人とグループが共存

一人で勉強

ものづくり

スタジオ

共有

ものづくり
音のでることをしても
怒られない空間

表現

発表

共有

共有

壁サイン

小さな音で音楽を流す

壁を抜く

天井まで本棚

インフォ

そこにいてもいい場所

・木陰のような芝生のような場所
 ・一人でも居られる
 ・全体を見渡せる高い場所
 ・リラックス

休憩

下階・外部

・各階総合利用
 ・スポーツ道具貸出
 ・上りたくなるデザイン(採光など)
 ・2階の資料も3階に持ち込み可
 ・他階の連続性

信州情報探索

・暗い
 ・閉架書庫の展示
 ・プロジェクター

・長野県を体験
 ・デジタル+アナログ

来る前

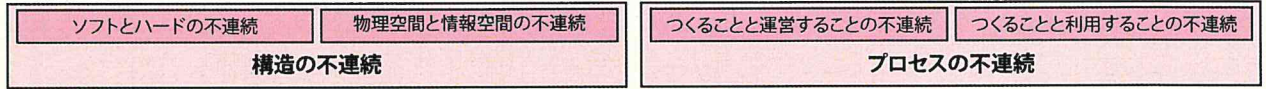
・駅～駐車場～図書館～公園のサイン
 ・キオスクやコンビニ、ブックバス
 ・屋台

来た後

Eチーム 補足

・みんなで居たい時 ⇔ 一人で居たい時
 ・同じエリアでいろんな使い方
 → 自由な空間、個人とグループの間を行ったり来たり
 ・ゾーンの中にもエリア分け(入れ子の様な空間)

～知の「創発」・情報と活動の拠点～ 共知・共創の場としての図書館へ



共知・共創の場→多様な「co-」が生まれる空間(県立長野図書館が目指す姿)
 図書館がまちをつくり、まちが図書館をつくるー信州地域創造の「実験室」ー(フロアコンセプト)
 というコンセプトの実現が難しい

コンセプト実現に向けて課題を乗り越えるためのポイント

